

主な登場人物

城崎 唯

主人公 城北大大学 文学部 心理学科 1年

身長 163cm スリーサイズ B88/W57/H89 Dカップ

誰もが振り返る美女。まだ幼さの残るルックスは永遠の美少女のよう。

サークル内の男子誰もがその笑顔にあこがれている。

松田 恵子

唯のサークルの先輩。 岡田達也をめぐり唯を憎む。

身長 161cm、 スリーサイズ B84/W56/H87 Cカップ

緒方 裕子

唯のサークルの先輩。 松田 恵子の親友。

身長 159cm、 スリーサイズ B80/W54/H83 Bカップ

岡田 達也

唯のサークルの先輩。　松田　恵子から好意を寄せられている。

だが岡田は唯のことが好きだった。

伊藤　拓哉

唯の同級生。　唯と交際を始めたが・・・

クリスマスまでに∞年の松田恵子はずっと思っていた同級生の岡田達也と交際したいと考えていた。

そして文化祭のあと　後夜祭で思い切って　恵子は告白した。

その答えは思いがけないものだった。

「ごめん　松田さんのこと嫌いじゃないんだけど

僕が好きなのは城崎さんなんだよね。」

「だって　城崎は伊藤と付き合ってるじゃない」

「うん　そうだけど　諦められないんだ。　伊藤君から奪おうとかは思っ
てないんだけど

こんな気持ちのまま松田さんと付き合うのも松田さんに失礼だと思うんだ。」

「失礼なんかじゃ ない ねえ・・・」

「ごめん せっかく言ってくれたのに気持ちに答えられなくて」

「それでもいいから 城崎のこと好きでもいいから」

「ごめん・・・」

ここからは何も言っても無駄だった。

言えは言うほど恵子は自分が惨めになり

そしてそれは 城崎 唯 への怒りと嫉妬となり

行き場のない感情となって溢れてきた・・・

それから1ヶ月ほど過ぎた12月のはじめ・・・

唯のサークルで忘年会兼クリスマスパーティーが行われた・・・

松田恵子とその親友の緒方裕子が幹事をしている。

場所は繁華街から風俗街へ続くラブホテル街近くのパーティールームだった。

「何ここ　なんかエロい」

「なんでこんなところにベットがあるの？」

「って　ここ　ラブホじゃん」

「ファッションホテルって言って　ほら　女子会コースだってあるんだから。」

「でもラブホじゃん、松田の趣味??」

「ちっ違う　ネットで安さにつられて取っちゃったの。」

あとで気付いてキャンセルしようと思ったら キャンセル料が思ったより高く
て

それに女子会とか書いてあるからそんな変なところじゃないと思って。」

松田は早口で捲し立てた。

「ホントだ女子会プランって書いてある・・・安っ 女子会プラン」

「でしょ、男が入ると値段が上がるけどそれでも格安よ。」

間違えて変なところ予約しちゃったけど まあ いいでしょ。」

だが 松田は間違えてはいない・・・

確信犯だった・・・

文化祭の後夜祭以来、膨れ上がる唯への恨みを果たすために・・・

そしてパーティーは盛り上がりお酒もいよいよ回ってきたところで

王様ゲームが始まる・・・

段々 怪しい雰囲気になっていく。

※挿し絵や表紙はイメージとなります。画像生成AIを用いて作成しております。